



S Y L L A B U S

平成 27 年度高大連携授業

# 後期授業計画

(科目概要)

大学コンソーシアムあきた

## 目 次

1	英語の楽しさ再発見	(秋田大学)	・ ・ ・ ・ ・ 1
2	大学の生物実験入門	(秋田大学)	・ ・ ・ ・ ・ 2
3	高校生も知って役立つ保健医療のはなし	(秋田大学)	・ ・ ・ ・ ・ 3
4	コンピュータ、もっと役に立ちます	(秋田県立大学)	・ ・ ・ ・ ・ 4
5	意思決定のための数理入門	(秋田県立大学)	・ ・ ・ ・ ・ 5
6	高校数学から大学への数学へ	(秋田県立大学)	・ ・ ・ ・ ・ 6
7	音や画像に関する技術のはなし	(秋田県立大学)	・ ・ ・ ・ ・ 7
8	哲学カフェ	(秋田県立大学)	・ ・ ・ ・ ・ 8
9	植物とその生産を科学する	(秋田県立大学)	・ ・ ・ ・ ・ 9
10	不思議な木	(秋田県立大学)	・ ・ ・ ・ ・ 10
11	国際教養学への招待	(国際教養大学)	・ ・ ・ ・ ・ 11
12	経済学	(ノースアジア大学)	・ ・ ・ ・ ・ 12
13	法学とその関連領域②	(ノースアジア大学)	・ ・ ・ ・ ・ 13
14	高校生のための観光学	(ノースアジア大学)	・ ・ ・ ・ ・ 14
15	高校生のための看護学入門	(日本赤十字秋田看護大学)	・ ・ ・ ・ ・ 15
16	アート世界への入り口	(秋田公立美術大学)	・ ・ ・ ・ ・ 16
17	食生活と健康	(秋田栄養短期大学)	・ ・ ・ ・ ・ 17
18	言葉の世界へようこそ	(聖霊女子短期大学)	・ ・ ・ ・ ・ 18
19	高校生のスポーツ栄養学	(聖霊女子短期大学)	・ ・ ・ ・ ・ 19
20	暮らしを彩る介護福祉	(日本赤十字秋田短期大学)	・ ・ ・ ・ ・ 20

平成27年度高大連携授業<後期>授業要目(科目概要)

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		<b>大学等名</b>		秋田大学	
<b>科目名</b> (サブタイトル)	<b>英語の楽しさ再発見</b> ～英語を様々な角度から研究する～		<b>科目</b>	(学部・学科) 教育文化学部 学校教育課程	
		<b>科目</b> <b>担当者</b>	(職・氏名) 准教授 若有 保彦 (代表)		
<b>授業概要</b>	大学の英語学習では、英語力を伸ばすだけでなく、英語を様々な角度から研究します。本講座では、英語という言葉の仕組みや英語の文化的背景、英語学習の効果的方法を秋田大学の英語担当教員と一緒に考えていきます。				
<b>授業方法と留意点</b>	担当者の話を聞くだけではなく、視聴覚教材を通して英語学習を体験したり、実際に学習活動をしてもらうこともある。受講者は特に大学で「英語」を専攻しようとする方でなくてもかまわない。英語が苦手という人にとっても、また新しい視点から英語を見直す機会になるものと期待する。				
<b>授 業 計 画</b>					
<10月21日(水)>					
第1講: 「英語の歴史」		講師 エイドリアン・パターソン			
<10月28日(水)>					
第2講: 「『ロミオとジュリエット』で知るシェイクスピア」		教授 佐々木 和貴			
<b>テキスト</b>	プリント教材を配付します。				
<b>参考文献</b>	授業の中で紹介します。				
<b>開講時期</b>	後期	水曜日	17:30～19:00	<b>開講日</b>	10/21                      10/28
<b>関連科目</b>	特になし			<b>会場</b>	カレッジプラザ                      カレッジプラザ

## 平成27年度高大連携授業＜後期＞授業要目（科目概要）

## Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		<b>大学等名</b>		秋田大学					
<b>科目名</b> (サブタイトル)	大学の生物実験入門 ～大学で観察・解剖・実験を体験する～			<b>科目</b> <b>担当者</b>	(学部・学科) 教育文化学部 英語・理数教育講座 (職・氏名) 准教授 石井 照久				
<b>授業概要</b> 大学での生物学は、観察・解剖・実験などを重要視しており、生き物から直接学ぶことにより生命現象を捉えようとしています。この授業では、大学に来てもらって実際に観察・解剖・実験を少し体験してもらいます。									
<b>授業方法と留意点</b>	テキストは特に指定しません。参考文献は、購入の必要はありませんが、興味があったら購入して下さい。								
<b>授 業 計 画</b>									
< 10月6日 (火) >									
第1講：「大学の生物学はここが違う！」 アカデミックガイダンス 生き物とそうでないもの 生き物を観察しよう 動物と植物									
< 10月13日 (火) >									
第2講：「細胞をみてみよう！」 普段見慣れている生き物の細胞を顕微鏡で観察しよう ミクロな世界を体験しよう									
< 10月20日 (火) >									
第3講：「海の生物を知ろう！」 地表の約70%を占める海には多様な生物がいる 海の環境が悪化すると？ 海の生き物を観察しよう									
< 10月27日 (火) >									
第4講：「動物の体をみよう！」 動物の体は基本的には似ている 解剖をしてみよう									
< 11月10日 (火) >									
第5講：「遺伝子の正体であるDNAをみよう！」 遺伝子は何をしているか？ DNAを抽出してみよう  <その他>この授業は、秋田大学を会場に開講します。 秋田大学 手形キャンパス 住所 秋田市手形学園町1-1 電話018-889-2681									
<b>テキスト</b>	なし								
<b>参考文献</b>	「生物学超入門」 大石正道著 日本実業出版社 1300円＋税 「遺伝子時代の基礎知識」 東嶋和子著 講談社 1040円＋税 「“生きている”ってどういうこと」 培風館 2100円＋税								
<b>開講時期</b>	後期	火曜日	17:30～19:00	<b>開講日</b>	10/6	10/13	10/20	10/27	11/10
<b>関連科目</b>	なし			<b>会場</b>	秋大手形	秋大手形	秋大手形	秋大手形	秋大手形

平成27年度高大連携授業<後期>授業要目(科目概要)

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		<b>大学等名</b>		秋田大学			
<b>科目名</b> (サブタイトル)	高校生も知って役立つ 保健医療のはなし		<b>科目 担当者</b>	医学系研究科 保健学専攻 作業療法学講座 助教 津軽谷 恵 理学療法学講座 助教 木元 稔 臨床看護学講座 教授 米山 奈奈子			
<b>授業概要</b>	現在の健康問題に焦点を当て、高校生も知識を得ることで、保健行動に役立つ内容です。						
<b>授業方法 と留意点</b>	医療職に興味がある生徒に限らず、健康について考えたい高校生に向けてお話しします。						
<b>授 業 計 画</b>							
<10月7日(水)>							
第1講:「認知症をタイプ別に理解しよう!」 保健学専攻 作業療法学講座 助教 津軽谷 恵							
<10月14日(水)>							
第2講:「受験勉強や部活動で役立つストレッチ」 保健学専攻 理学療法学講座 助教 木元 稔							
<10月21日(水)>							
第3講:「『ダメ、絶対ダメ』がダメな理由(わけ)～薬物依存を理解する～」 保健学専攻 臨床看護学講座 教授 米山 奈奈子							
<b>テキスト</b>	なし						
<b>参考文献</b>	なし						
<b>開講時期</b>	後期	水曜日	17:30~19:00	<b>開講日</b>	10/7	10/14	10/21
<b>関連科目</b>	なし			<b>会 場</b>	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ

平成27年度高大連携授業<後期>授業要目(科目概要)

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		<b>大学等名</b>		秋田県立大学				
<b>科目名</b> (サブタイトル)	コンピュータ、もっと役に立ちます ～コンピュータの活用法の応用～		<b>科目</b> <b>担当者</b>	(学部・学科) システム科学技術学部 電子情報システム学科 (職・氏名) 准教授 廣田 千明 他(3名)				
<b>授業概要</b> 私たちの身のまわりにある様々な問題を解決するためにコンピュータが利用されています。そこで本科目ではコンピュータを使って解決するための様々な技術の活用法を応用例と共に学びます。								
<b>授業方法</b> <b>と留意点</b>								
<b>授 業 計 画</b>								
<10月6日(火)>								
第1講:「野球の打順解析」		准教授 廣田 千明						
コンピュータを使って最良な打順はどのような打順か調べます。								
<10月13日(火)>								
第2講:「バーチャルな世界を創る」		助教 寺田 裕樹						
コンピュータを使って現実と同じような世界を体験します。								
<10月20日(火)>								
第3講:「インターネットで動くソフトを作ろう(前編)」		准教授 能登谷 淳一						
離れたところにあるコンピュータを使って動作するソフトウェアの仕組みを学びます。								
<10月27日(火)>								
第4講:「インターネットで動くソフトを作ろう(後編)」		准教授 能登谷 淳一						
第3講で学んだ内容を活用して、カレンダーを表示するソフトウェアを作成します。								
<p>&lt;その他&gt;この授業は、秋田県立大学本荘キャンパスを会場に開講します。</p> <p>会場 第1・2講→共通施設棟K336、第3・4講→学部棟コンピュータ実習室GI201</p> <p>住所 由利本荘市土谷字海老ノ口84-4</p> <p>電話 0184-27-2000</p>								
<b>テキスト</b>	当日資料を配布します。							
<b>参考文献</b>	授業の中で紹介します。							
<b>開講時期</b>	後期	火曜日	17:30~19:00	<b>開講日</b>	10/6	10/13	10/20	10/27
<b>関連科目</b>	数学、情報			<b>会場</b>	県大本荘	県大本荘	県大本荘	県大本荘

平成27年度高大連携授業<後期>授業要目(科目概要)

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		<b>大学等名</b>		秋田県立大学		
<b>科目名</b> (サブタイトル)	<b>意思決定のための数理入門</b> ～高等学校で学んでいる数学は とても役に立っています～		<b>科目 担当者</b>	<small>(学部・学科)</small> システム科学技術学部 経営システム工学科 <small>(職・氏名)</small> 准教授 星野 満博		
<b>授業概要</b> 高等学校で学ぶ数学は、様々なところで役に立っています。高等学校で習う数学を用いて、大学で学ぶ応用数学や経営科学に関する内容を「買い物」を例に紹介します。意思決定と数学が主なテーマです。						
<b>授業方法 と留意点</b>	経営科学および応用数学の内容で演習形式(参加型)の授業となります。自ら基本的な計算をすることにより、数学とその活用についての基礎を学びます。大学での高度な数学や経営科学についても紹介します。					
<b>授 業 計 画</b>						
<10月4日(日)>						
<p>・<b>テーマ1：不確実性を伴う数理意思決定</b></p> <p>現代社会において、不確実性と意思決定は非常に重要なキーワードです。何かものを購入するときに、同じものであれば安く買いたいのが普通ですね。その際、買うタイミングというのも一つの重要なファクターになります。今は買い時(一番安い?)なのか、それとも今後、高くなるか安くなるか分からないけど、今回はパスして次回に買うべきか?このような(未来・先の)不確実な状況下での行動の時間的頃合(ころあい)を、数学を使って考えてみましょう、というのがここでのテーマです。不確実なものどう付き合えばよいのか、数学的な一つのアプローチです。</p> <p>・<b>テーマ2：AHPによる意思決定</b></p> <p>あなたが、本当にほしいものは、どれですか?「選ぶために整理する」ことの科学的手法の紹介です。</p> <p>2つのテーマの内容を3回(時間)の授業で解説致します。また、大学で学ぶ数学やコンピューターを用いた綺麗な数式・図も紹介します。※文系理系問わず、基本的な内容から解説します。</p> <p style="text-align: center;"><u>12:40～13:20</u>      <u>昼食時間</u>      <u>(昼食を持参ください)</u></p>						
<b>テキスト</b>						
<b>参考文献</b>						
<b>開講時期</b>	後期	日曜日集中 9:30～14:50	<b>開講日</b>	10/4 9:30～	10/4 11:10～	10/4 13:20～
<b>関連科目</b>	数学、情報		<b>会場</b>	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ

平成27年度高大連携授業<後期>授業要目(科目概要)

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		<b>大学等名</b>		秋田県立大学		
<b>科目名</b> (サブタイトル)	高校数学から大学への数学へ		<b>科目担当者</b>	(学部・学科) システム科学技術学部 経営システム工学科 (職・氏名) 教授 木村 寛		
<b>授業概要</b> 大学で学ぶ数学について、その基礎的考え方を高校生でもわかるように分かり易く解説します。また大学で学ぶ数学が実社会にどのように用いられているかなど、その数学的手法を紹介します。						
<b>授業方法と留意点</b> 高校1年生からの受講が可能です。数学が得意・不得意に関わらず、興味を持っている人大歓迎です。また数学の社会への活用法に興味がある人も大歓迎です。						
<b>授 業 計 画</b>						
<10月18日(日)>						
第1講：(9:30~11:00) 「大学1・2年で学ぶ数学 ～解析学・線形代数学～」						
第2講：(11:10~12:40) 「理工学、社会科学、医学、経営、経済など多くの分野で必須の数学 ～確率・統計～」						
※ <u>12:40~13:20</u> 昼食時間 (昼食を持参ください)						
第3講：(13:20~14:50) 「現実問題を解決する応用数学 ～最適化理論・数理計画法・ゲーム理論」						
<b>テキスト</b>	講義内容をまとめたプリントを配布します。					
<b>参考文献</b>	授業の中で紹介します。					
<b>開講時期</b>	後期	日曜日 集中 9:30~14:50	<b>開講日</b>	10/18 9:30~	10/18 11:10~	10/18 13:20~
<b>関連科目</b>	数学、経営、情報、経済		<b>会場</b>	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ

平成27年度高大連携授業<後期>授業要目(科目概要)

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		<b>大学等名</b>		秋田県立大学			
<b>科目名</b> (サブタイトル)	音や画像に関する技術のはなし			<b>科目担当者</b>	(学部・学科) システム科学技術学部 電子情報システム学科 (職・氏名) 教授 磯田 陽次 他(4名)		
<b>授業概要</b>	私たちの身の回りにあふれている音楽や画像を、携帯用の電子機器ではどのように扱っているのかを分かり易く説明します。						
<b>授業方法と留意点</b>	4つのテーマを別々の教員が講義します。						
<b>授 業 計 画</b>							
<u>&lt;10月15日(木)&gt;</u>							
第1講: 「音や電波を見えるようにする」		教授 磯田 陽次					
音や電波は目に見えませんが、シミュレーションで可視化できます。障害物があった場合の音や電波の振る舞いなどを紹介します。							
<u>&lt;10月22日(木)&gt;</u>							
第2講: 「音声圧縮技術について」		教授 西口 正之					
iPodやWalkmanなどの携帯音楽プレーヤーでは、音楽を圧縮してファイルサイズを小さくすることで長時間の音楽を録音できるようにしています。音質を損ねないで音楽を圧縮する技術を紹介し							
ます。							
<u>&lt;10月29日(木)&gt;</u>							
第3講: 「デジタル画像処理の基礎と応用について」		教授 陳 国躍					
デジタル画像処理の基礎および画像認識とその応用について解説します。デジタル画像の特徴や2値画像の処理、多値画像の処理とこれらの応用について分かり易く解説します。							
<u>&lt;11月5日(木)&gt;</u>							
第4講: 「コミュニケーションロボットの音声理解技術」		教授 堂坂 浩二					
言葉や見振りを使って人間と会話をを行い、人間の様々な活動を援けるコミュニケーションロボットが、人間の音声を認識し、話の内容を理解する仕組みについて紹介します。							
<b>テキスト</b>	講義内容をまとめたプリントを毎回配布します。						
<b>参考文献</b>	授業の中で紹介します。						
<b>開講時期</b>	後期	木曜日 17:30~19:00	<b>開講日</b>	10/15	10/22	10/29	11/5
<b>関連科目</b>	数学、物理		<b>会場</b>	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ

平成27年度高大連携授業<後期>授業要目(科目概要)

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名		秋田県立大学			
科目名 (サブタイトル)	哲学カフェ		科目 担当者	(学部・学科) 総合科学教育研究センター (職・氏名) 助教 鈴木 祐丞			
授業概要	哲学とはとことんまで考え抜くという営みであり、そのための対話の場が「哲学カフェ」です。打ち解けた雰囲気の中、けれども真剣に、思索と対話をしてみましょう。今回は貧困問題がテーマです。						
授業方法 と留意点	まず、倫理学者の所説を紹介するなどして、考えるべき問題の所在を明確にします。その上で、その問題について、論点を洗い出しつつ参加者全員で対話をし、最終的に各人に自分の結論を発表してもらいます。						
<b>授 業 計 画</b>							
<u>&lt;10月9日(金)&gt;</u>							
第1講：「貧困問題を倫理問題として考える」							
世界の貧困問題について概観しつつ、その問題に関する倫理学者ピーター・シンガーの考察を紹介します。シンガーは、「裕福な国の人には貧しい国の人のために寄付をする義務があるか」という問いをめぐって思索し、裕福な国の人にとって寄付とは慈善(したらほめられること)ではなく義務(しなければ非難されること)だ、と結論付けています。							
<u>&lt;10月16日(金)&gt;</u>							
第2講：「貧困問題をめぐって対話する」							
シンガーの上述の考察を踏まえて、「裕福な国の人には貧しい国の人のために寄付をする義務があるか」という問いをめぐって、参加者全員で対話をします。「対話」とは何か、哲学とはどのような営みかについても、あわせて説明します。							
<u>&lt;10月23日(金)&gt;</u>							
第3講：「貧困問題に自分がどうコミットしてゆくか論じる」							
受講者各人に、「裕福な国の人には貧しい国の人のために寄付をする義務があるか」という問いについての、ひとまずの自分なりの結論を発表してもらいます。もちろん、それぞれの結論をめぐって全員で対話を繰り返します。							
<b><u>【先着10名で募集を締め切ります】</u></b>							
テキスト	資料を配布します。						
参考文献	授業の中で紹介します。						
開講時期	後期	金曜日	17:30~19:00	開講日	10/9	10/16	10/23
関連科目	哲学、倫理学			会場	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ

平成27年度高大連携授業<後期>授業要目(科目概要)

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		<b>大学等名</b>		秋田県立大学					
<b>科目名</b> (サブタイトル)	<b>植物とその生産を科学する</b> ～植物科学の最前線と生活を豊かにする 植物の不思議をひも解く～			<b>科目</b> <b>担当者</b>	(学部・学科) 生物資源科学部 生物生産科学科 (職・氏名) 准教授 櫻井 健二 他(4名)				
<b>授業概要</b> 人類は食料や食品、建築資材、衣料など生活上の素材を植物に依存してきました。植物研究の最前線を紹介し、植物とその生産に関する科学の世界へ皆さんを招待し、私達の生活をさらに豊かにする道を考えていきます。									
<b>授業方法と留意点</b>	生物生産科学科の教員によるオムニバス形式の講義です。各授業終了前に、簡単な授業の感想レポートを書いて頂きます。また、最終講(第5講)では科目全体の質疑応答や植物を科学することの討論会を実施し、科目内容の理解を深めます。主に、植物を対象とする生物(学)、植物に関連する仕事や産業、あるいは農業に関心をもつ高校生の受講を期待しています。なお、前期(5月)にも同一内容になります。								
<b>授 業 計 画</b>									
<10月25日(日)>									
第1講: (10:30~12:00) 「植物のからだの中の「もの」の動きを変える」 准教授 中村 進一									
<u>※12:00~12:50 昼食時間 昼食を持参ください。</u>									
第2講: (12:50~14:20) 「乾燥ストレスや塩ストレスに強い植物の作り方」 准教授 小川 敦史									
<11月1日(日)>									
第3講: (10:30~12:00) 「植物の不思議を解くために」 准教授 佐藤 奈美子									
<u>※12:00~12:50 昼食時間 昼食を持参ください。</u>									
第4講: (12:50~14:20) 「神秘! リンゴの受精 ～遺伝子から結婚相手を見極める～」 准教授 櫻井 健二									
第5講: (14:30~16:00) 「植物科学の未来を語り合おう!」 准教授 櫻井 健二									
<b>テキスト</b>	授業ごとに資料を配付します。								
<b>参考文献</b>									
<b>開講時期</b>	後期	日曜日 集中 第1・2講 10:30~14:20 第3~5講 10:30~16:00		<b>開講日</b>	10/25 10:30~	10/25 12:50~	11/1 10:30~	11/1 12:50~	11/1 14:30~
<b>関連科目</b>	生物学、農学、植物栄養学、作物学、遺伝学、果樹園芸学			<b>会 場</b>	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ

平成27年度高大連携授業<後期>授業要目(科目概要)

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		<b>大学等名</b>		秋田県立大学			
<b>科目名</b> (サブタイトル)	不思議な木 ～来て・見て・作ろう～		<b>科目</b>	(学部・学科) 木材高度加工研究所			
			<b>担当者</b>	(職・氏名) 教授 高田 克彦 他(6名)			
<b>授業概要</b>			大館の曲げわっぱを知っているでしょう。ではどうやって作るか知っていますか？この講義ではその原理を解説・利用し、写真のようなペットボトルに入った木を実際に作ってみます。木の不思議な世界を体験しませんか？				
<b>授業方法と留意点</b>	物を作るには、そうなる原理があります。その原理も各自に考えてもらい、学ぶだけでなく、実際に見て、体験して、作ることがこの授業の方針です。授業に積極的に参加して、自分で作った不思議な木を持ち帰って下さい。						
<b>授 業 計 画</b>							
< 10月24日(土) >							
第1講：(9:30～11:00)							
「木を曲げる」		准教授 足立 幸司/教授 高田 克彦					
曲げわっぱの原理を学び、実際に木を曲げてみる							
第2講：(11:10～12:40)							
「ペットボトルに入った木を作ろう」		准教授 山内 秀文/教授 中村 昇/教授 高田 克彦					
第1講をもとに、どうやったらペットボトルに木を入れることができるか考え、実際にやってみる							
※ <u>12:40～13:20</u> <u>昼食時間</u> (昼食を持参ください)							
第3講：(13:20～14:50)							
「ねじれる木を作ろう」		准教授 足立 幸司/准教授 山内 秀文/教授 中村 昇					
木をねじる？そんなことができるの？ここではその原理を学び、実際に作ってみる							
第4講：(15:00～16:30)							
「ウッドプラスチックを成形する？」		教授 栗本 康司/准教授 渋谷 栄					
木とプラスチックはそのまま混ぜただけでは成形できない。どうしたらいいのか、その原理を学び、実際にウッドプラスチックを作ってみる							
<b>テキスト</b>	講義内容をまとめたプリント教材を配布します。						
<b>参考文献</b>	授業の中で紹介します。						
<b>開講時期</b>	後期	土曜日 集中 9:30～16:30	<b>開講日</b>	10/24 9:30～	10/24 11:10～	10/24 13:20～	10/24 15:00～
<b>関連科目</b>	物理、化学、生物		<b>会場</b>	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ

平成27年度高大連携授業＜後期＞授業要目（科目概要）

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名		国際教養大学				
科目名 (サブタイトル)	国際教養学への招待 ~Invitation to International Liberal Arts~		科目 担当者	(学部・学科) 国際教養学部 (職・氏名) 助教 Alex Pinar 他 (5名)				
<b>授業概要</b> 世界を理解するには何が重要か、大学での「学問」がいかに楽しいか、国際感覚を身に付けるには高校時代に何を準備すべきかなどを国際教養大学の教員がそれぞれの専門分野の研究結果を踏まえ、様々な角度から指導します。								
<b>授業方法と留意点</b>		授業は、日本語または英語で行われます。演習やワークショップ形式を中止に行うため、積極的に授業に参加することが期待されます。なお、受講者による事前準備は必要ありません。						
<b>授 業 計 画</b>								
< 10月24日 (土) > 第1講 (13:30~15:00) <b>「Communication between cultures: nonverbal codes」</b> 助教 Alex PINAR This class will focus on explaining what non-verbal communication is and how that differs between cultures. Students will learn the characteristics of non-verbal codes and understand how important it is to have intercultural knowledge in a globalized world. Moreover, students will work in group to analyze an intercultural communication case study related to the topic. (講義は英語で行います)								
< 10月31日 (土) > 第2講 (13:30~15:00) <b>「Dia de Los Muertos: Exploring the Sociological Dimensions of Death in North America」</b> 准教授 Salvador MURGUIA The way in which different peoples of the world deal with death and dying varies considerably, both in terms of material and non-material expressions. This interactive lecture will introduce the Latino celebration of Dia de Los Muertos (Day of the Dead)-showcasing the history, beliefs, practices, physical items, as well as provide a sociological analysis of how this event reflects not only the way people die, but also how they live. (講義は英語で行います)								
第3講 (15:15~16:45) <b>「『ノルウェイの森に棲むギャツビー』 - 2つの小説に見るアメリカの夢とその消失 -」</b> 教授 内田 浩樹 全く異なった時期、国で、異なった作者によって書かれた「グレート・ギャツビー」(フィッツジェラルド)と「ノルウェイの森」(村上春樹)をアメリカの夢とその消失というテーマから読み解きます。(講義は日本語で行います)								
< 11月21日 (土) > 第4講 (13:30~15:00) <b>「外国語を習得するとはどういうこと？」</b> 助教 豊嶋 朗子 この講座では、外国語を習得するメカニズムと習得する際に影響を受ける要因についてご紹介します。皆さんの経験やまさに現在困っていることなどを話し合いながら、外国語を習得するとはどういうことか考えてみましょう。(講義は日本語で行います)								
< 11月28日 (土) > 第5講 (13:30~15:00) <b>「経済学を通じて世界の貧困を理解する」</b> 助教 中川 秀幸 現在、世界の4人に1人は1日100円ちょっとの生活費で暮らしています。どうして貧困が蔓延しているのか、日本に住んでいる私達ではなかなか実感がわかないかもしれませんが、経済学的手法を通じて一緒に考えましょう。(講義は日本語で行います)								
テキスト								
参考文献								
開講時期	後期	土曜日 13:30~15:00 (第3講のみ15:15~16:45)	開講日	10/24 13:30~	10/31 13:30~	10/31 15:15~	11/21 13:30~	11/28 13:30~
関連科目			会場	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ

平成27年度高大連携授業＜後期＞授業要目（科目概要）

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	ノースアジア大学					
科目名 (括弧内)	経済学 ～公務員・国際人・スポーツ人・銀行員～	科目 担当者	(学部・学科) 経済学部 経済学科 (職・氏名) 教授 海老川 寿美夫 他(5名)					
授業概要	21世紀の世界では、国境と利害関係を越えた人間相互の協調を意識した難しい決断を迫られます。そこでは鋭敏な経済学的思考と、新たな国際公共秩序や環境意識を備えた若者が必要です。そういう若者になりませんか？							
授業方法 と留意点	経済学・経営学の理論と実践を一話完結型のオムニバス形式で講義します。各担当者は受講生の考え方や意見から自然と各テーマの本質に迫れるよう講義を工夫しています。							
<b>授 業 計 画</b>								
＜10月2日（金）＞								
第1講：「世界の人々の利己心に立ち向かう経済理論」 准教授 山本 俊 人種や国籍を問わず、人間ならば誰も「自分さえよければ良い」という利己心を持っていることでしょう。その利己心が最もよく現れる経済サービスが保険です。皆さんには保険会社の見習いエコノミストとして、いくつかの意思決定をして頂きます。そこから利己心と経済理論の本質に迫ります。								
＜10月16日（金）＞								
第2講：「社会的企業（起業）はなぜ地域を変えるのか」 准教授 李 廷珉 今日本では、地域の発展に貢献したいと志す若者が増えている。彼らは仕事を地域への貢献に結びつけ、それ様々な取り組みに挑戦している。この講座では、ノースアジア大学で用いられた講義資料を参考資料とし、社会的企業と地域づくりの関係について考える。								
＜10月30日（金）＞								
第3講：「経済学を学べば経済の将来を予想できるだろうか？」 教授 海老川 寿美夫 受講者の皆さんは朝出かける時に、天気予報でその日の午後の降水確率が90%と発表されたら、どういう対応をしますか？答えは・・・この自然現象の予報の世界を、経済現象の話に置き換えると、「真逆のこと」が occurs。ここに経済を学ぶ大きな理由があります。2040年の日本の将来まで含め勉強しましょう！								
＜11月13日（金）＞								
第4講：「パソコンが消える？ ITの進化！」 准教授 瀧森 威 スマートフォンやタブレットの普及によって、いつでもどこでもネット接続が可能となり、あらゆる情報を入手できるようになりました。大事なデータもクラウドという世界にあずけ、もうパソコンは必要ないのではという疑問が浮かびます。将来、ITはどのように進化するのかを徹底説明します。								
＜11月27日（金）＞								
第5講：「明日から使える経済学 一楽について考えてみよう」 講師 鈴木 秀頭 経済学は社会環境の移り変わりとともに日々変化しています。今までの経済学は人間の合理性を前提とし、現実には起こりにくい仮定を基に考えられてきました。しかし、現代経済学では、その前提から外れた人間行動を実験・分析しています。こうすることで経済学は、私たちの生活に身近なものとなってきました。								
テキスト	講義資料を配布する。							
参考文献	講義の中で、適時紹介する。							
開講時期	後期	金曜日 17:30～19:00	開講日	10/2	10/16	10/30	11/13	11/27
関連科目	行動経済学、国際経済学、国際経営学、情報経済学、環境経済学、公共経済学、経営戦略論、ミクロ経済学、マクロ経済学など。		会場	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ

平成27年度高大連携授業<後期>授業要目(科目概要)

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		<b>大学等名</b>		ノースアジア大学					
<b>科目名</b> (サブタイトル)	<b>法学とその関連領域②</b> ～法学と政治学のメガネでは 物事が違って見える?!～		<b>科目</b>	(学部・学科) 法学部 法律学科					
			<b>担当者</b>	(職・氏名) 准教授 渡部 高明 他(5名)					
<b>授業概要</b> 「法律」や「政治」の話というと堅苦しいイメージがあるかもしれませんが。しかし、楽しく法律学の各分野や、密接に関連する政治学のポイントを学ぶことで、いろいろなメガネをかけて物事を見てみましょう。今までとは違ったものが見えてくるはずです。									
<b>授業方法と留意点</b>	前期に引き続き、本学法学部法律学科の専任教員によるオムニバス講義です。事前の準備等は必要ありませんが、ノートと筆記用具を持参してください。								
<b>授 業 計 画</b>									
<11月10日(火)>									
第1講:「憲法」			准教授 渡部 高明						
現在、憲法に関する話題が世間を賑わせています。「憲法の大切さを考えよう」をテーマにあらためて憲法の意義を考えてみましょう。									
<11月17日(火)>									
第2講:「民法」			准教授 高橋 佑輔						
日常生活で接する民法の規定について、実例を交えてお話しします。									
<11月24日(火)>									
第3講:「刑事法」			准教授 秋山 栄一						
ここでは、刑事裁判の流れを中心に、犯罪現象を考えていきたいと思います。									
<12月1日(火)>									
第4講:「行政法」			准教授 佐藤 寛稔						
「少子高齢化社会の法政策を考えよう」と題して、これまでの状況とこれからのすべきことについて考えていきます。									
<12月8日(火)>									
第5講:「政治学」			准教授 鹿谷 雄一						
現代社会において政治は不可欠な存在です。そこで取り上げられた議論が決定されていく過程をみていきます。									
<b>テキスト</b>	適宜プリントを配布します。								
<b>参考文献</b>	特になし								
<b>開講時期</b>	後期	火曜日	17:30～19:00	<b>開講日</b>	11/10	11/17	11/24	12/1	12/8
<b>関連科目</b>	憲法、民法、刑事法(刑法・刑事訴訟法・刑事政策)、行政法、政治学			<b>会場</b>	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ



平成27年度高大連携授業<後期>授業要目(科目概要)

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		<b>大学等名</b>		日本赤十字秋田看護大学					
<b>科目名</b> (サブタイトル)	高校生のための看護学入門 ～「生きる」を支える人になる～			<b>科目</b>	(学部・学科) 看護学部 看護学科				
				<b>担当者</b>	(職・氏名) 准教授 志賀 くに子				
<b>授業概要</b> 各専門領域の看護やその活動、また赤十字と看護を紹介することで、看護のこころ、ケアについて理解と関心を深める。									
<b>授業方法と留意点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オムニバス形式で下記担当者によるリレー形式で講義をすすめる。</li> <li>・講義は、カレッジプラザで行う。</li> </ul>								
<b>授 業 計 画</b>									
<10月3日(土)>									
第1講：(9:30～11:00)									
高校生のための精神看護学「精神看護学入門」 講師 宇佐美 覚									
第2講：(11:10～12:40)									
高校生のための公衆衛生看護学「地域で生活する人々の健康を守る」									
助手 萩原 智代									
<u>※12:40～13:20 昼食時間 (昼食を持参ください)</u>									
第3講：(13:20～14:50)									
高校生のための成人看護学									
「おとなの看護～突然、健康が脅かされたひとに寄り添う」									
講師 萩原 麻紀									
<10月4日(日)>									
第4講：(9:30～11:00)									
高校生のための災害看護学「東日本大震災から災害看護を学ぶ」									
助教 柏木 ゆきえ									
第5講：(11:10～12:40)									
赤十字と看護「日本赤十字社の活動と看護」									
講師 新沼 剛									
<b>テキスト</b>	講義内容をまとめたプリント教材を毎回配布します。								
<b>参考文献</b>	授業の中で紹介します。								
<b>開講時期</b>	後期	土・日曜日 集中 第1～3講 9:30～14:50 第4・5講 9:30～12:40		<b>開講日</b>	10/3 9:30～	10/3 11:10～	10/3 13:20～	10/4 9:30～	10/4 11:10～
<b>関連科目</b>				<b>会場</b>	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ

平成27年度高大連携授業<後期>授業要目(科目概要)

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		<b>大学等名</b>		秋田公立美術大学		
<b>科目名</b> (サブタイトル)	アート世界への入り口		<b>科目</b>	(学部・学科) 社会貢献センター		
			<b>担当者</b>	(職・氏名) 教授 五十嵐 潤		
<b>授業概要</b> 拡張し続ける美術の世界に向かう入り口として、大学で学ぶ内容や目標、その世界の動向などについて、クラフト・工芸、現代アート、デザインそれぞれの立場から解説します。						
<b>授業方法と留意点</b>						
<b>授 業 計 画</b>						
<10月24日(土)>						
第1講: (13:30~15:00)						
「素材の魅力 納得するものづくりを目指して」						
ものづくりデザイン専攻: 准教授 安藤 康裕、准教授 山岡 惇						
これまでのものづくりに何を求めつくり続けてきたのか、そしてこれからのものづくりに大切なこととは。木材と金属の特質や加工技術にふれながら解説します。						
<10月31日(土)>						
第2講: (13:30~15:00)						
「越境する表現」						
ビジュアルアーツ専攻: 准教授 高嶺 格						
世界のいろんな場所で新しい表現に取り組む現代アーティストの作品を紹介します。						
第3講: (15:15~16:45)						
「コミュニケーションデザインの授業」						
コミュニケーションデザイン専攻: 准教授 坂本 憲信						
メディアミックスによるビジュアルコミュニケーションと、アイデアを可視化する訓練について、授業における実践例を紹介しながら概説します。						
<b>テキスト</b>	適宜配布します。					
<b>参考文献</b>	適宜配布します。					
<b>開講時期</b>	後期	土曜日 集中	<b>開講日</b>	10/24 13:30~	10/31 13:30~	10/31 15:15~
<b>関連科目</b>			<b>会場</b>	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ

平成27年度高大連携授業<後期>授業要目(科目概要)

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名		秋田栄養短期大学			
科目名 (サブタイトル)	食生活と健康			科目 担当者	(学部・学科) 栄養学科 (職・氏名) 准教授 伊藤 千夏 他(3名)		
授業概要	近年、食生活では食材の地産地消や食品の安全性について関心が高まっています。本講では、地域特産食材とその活用をはじめ、食品の美味しさと物性の関係、食品の安全と衛生管理について分かりやすく解説します。						
授業方法 と留意点	3つのテーマについて3人の講師が担当していく形式をとります(一部実習を含みます)。講義・実習のテーマおよび担当者については、下記の授業計画をご覧ください。なお、第2講(実習)では、※「エプロン、三角巾(バンダナでも可)」を持参ください。また、調理実習室の都合上、上限を30人とさせていただきますのでご了承ください。						
<b>授 業 計 画</b>							
< 11月28日(土) >							
第1講: (13:00~14:30) 「秋田県の特産品について」 准教授 伊藤 千夏 秋田県のさまざまな特産品について、解説します。							
第2講: (14:40~16:10) 「秋田県の特産品で調理してみよう」(実習) 准教授 伊藤 千夏 講義で解説した特産品を使って調理実習を行います。							
< 11月29日(日) >							
第3講: (13:00~14:30) 「食品の衛生について」 准教授 橋本 環 おいしい食品にも食中毒や感染症の危険が潜んでいます。食品の安全・安心について考えてみましょう。							
第4講: (14:40~16:10) 「食品の物性ーおいしさを決める味以外の要素ー」 講師 東條 正 食品のおいしさは舌で感じる味だけではありません。いわゆる食感は、食品の物理的性質(物性)によって決まります。							
<b><u>【先着30名で募集を締め切ります】</u></b>							
<その他>この授業は、秋田栄養短期大学を会場に開講します。 住所 秋田市下北手桜守沢46-1 電話018-836-1357							
テキスト	テキストは用いません。必要に応じて講義ごとにプリントを配布して進めます。						
参考文献	各講義の中で適宜紹介します。						
開講時期	後期	土・日曜日 集中 13:00~16:10	開講日	11/28 13:00~	11/28 14:40~	11/29 13:00~	11/29 14:40~
関連科目	家庭科、保健科、社会科		会場	秋田栄養短期大学	秋田栄養短期大学	秋田栄養短期大学	秋田栄養短期大学

平成27年度高大連携授業<後期>授業要目(科目概要)

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		<b>大学等名</b>		聖霊女子短期大学					
<b>科目名</b> (サブタイトル)	言葉の世界へようこそ ～言語学への招待～			<b>科目</b>	(学部・学科)生活文化科				
				<b>担当者</b>	(職・氏名)講師 ジョン・サーロー				
<b>授業概要</b> 何気ない気持ちで毎日使っている言語(ことば)を意識する。コミュニケーションの観点から言葉の大切さや面白さを体験させる。									
<b>授業方法と留意点</b>	参加者数により変わるが、講義、討論とグループ・ワークを行う。								
<b>授 業 計 画</b>									
<10月6日(火)>									
第1講:「言語学の定義」			基本的な概念及びこれから使う用語の説明						
<10月13日(火)>									
第2講:「音声学と音韻論」			発音の仕方						
<10月20日(火)>									
第3講:「語形論・統語論」			単語の作り方・語順・文構造						
<10月27日(火)>									
第4講:「意味論・心理言語学」			単語に意味はあるのか						
<11月10日(火)>									
第5講:「社会言語学・方言学」			年齢・性別などによる言葉の使い方						
<b>テキスト</b>	なし(プリントを授業中に配布する)								
<b>参考文献</b>	なし								
<b>開講時期</b>	後期	火曜日	17:30~19:00	<b>開講日</b>	10/6	10/13	10/20	10/27	11/10
<b>関連科目</b>				<b>会場</b>	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ

平成27年度高大連携授業<後期>授業要目(科目概要)

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		<b>大学等名</b>		聖霊女子短期大学			
<b>科目名</b> (サブタイトル)	高校生のスポーツ栄養学			<b>科目</b>	(学部・学科)生活文化科		
		<b>担当者</b>	(職・氏名)准教授 大野 智子				
<b>授業概要</b> スポーツをする高校生にとって必要な栄養・食事管理について理解し、実践できる力を養うことを目標とします。							
<b>授業方法と留意点</b>	男女問わず、スポーツ栄養学に興味を持っている方は、受講可能です。 将来、管理栄養士を目指している方も歓迎します。						
<b>授 業 計 画</b>							
<10月3日(土)>							
第1講：(13:30~15:00)「スポーツと栄養」[講義] 准教授 大野 智子 スポーツ栄養学とは？競技力向上のために必要な栄養学の知識を深めましょう。							
第2講：(15:15~16:45)「栄養・食事管理の実践」[演習] 准教授 大野 智子 一日に必要なエネルギー量とは？何をどのくらい食べたら良いのか理解しましょう。							
<11月7日(土)>							
第3講：(10:30~12:00)「スポーツと食事 ~献立の基本~」[実習] 准教授 大野 智子/助手 豊嶋 瑠美子 食品の特性を理解し、食事設計のコツを覚えましょう。							
第4講：(12:00~13:30)「スポーツと食事 ~献立の応用~」[実習] 准教授 大野 智子/助手 豊嶋 瑠美子 栄養バランスのよい食事とは？実際に調理・試食して評価してみましょう。							
<その他>第3・4講は、聖霊女子短期大学を会場に開講します。 住所 秋田市寺内高野10-33 電話 018-845-4111 ※秋田駅西口より秋田中央交通バス土崎方面(新国道経由) 「高野二区」下車(330円) 徒歩5分							
<b>テキスト</b>	プリントを配付します。						
<b>参考文献</b>	授業の中で紹介します。						
<b>開講時期</b>	後期	土曜日 第1・2講 13:30~16:45 第3・4講 10:30~13:30	<b>開講日</b>	10/3 13:30~	10/3 15:15~	11/7 10:30~	11/7 12:00~
<b>関連科目</b>	家庭科、生物、化学、保健体育		<b>会場</b>	カレッジプラザ	カレッジプラザ	聖霊短大	聖霊短大

平成27年度高大連携授業<後期>授業要目(科目概要)

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		<b>大学等名</b>		日本赤十字秋田短期大学	
<b>科目名</b> (サブタイトル)	<b>暮らしを彩る介護福祉</b> ～「生きがい」を支える人になる～		<b>科目</b>	(学部・学科) 介護福祉学科	
		<b>担当者</b>	(職・氏名) 講師 佐藤 沙織		
<b>授業概要</b> 福祉レクリエーションの視点から、介護を必要とする方の生きがいや張り合いのある暮らしを支える手法を学びます。					
<b>授業方法と留意点</b>	「楽しさ」をキーワードに、福祉レクリエーションについての講義と実践を通し、人々の生きる力、生きる喜びに寄り添い、支えることの大切さについて学びましょう。				
<b>授 業 計 画</b>					
<10月17日(土)>					
第1講：(13:00～14:30)					
<b>「生きがいを支える ～福祉レクリエーションとは～」</b>					
身体的、精神的、社会的制限・制約によって、自分の好きなことができなくなっていたり、できることが見つけられない状況にある方々が多くおります。そのような方々に対し、生きがいや張り合いのある生活を実現するために、どのような支援が必要か学びます。					
第2講(14:45～16:15)					
<b>「楽しさの支援 ～身近なレクリエーション財の発見～」</b>					
「楽しさ」は生きる力や喜びの原動力になります。楽しさを得るためにどのようなことをすればよいか、どのようなときなら楽しいのか、自分で判断することが困難になっている方々に対し、再度楽しいと思える活動や環境を見つけ出すための具体的手法を学びます。					
<b>テキスト</b>	講義内においてプリントを配布します。				
<b>参考文献</b>					
<b>開講時期</b>	後期	土曜日 集中 13:00～16:15	<b>開講日</b>	10/17 13:00～	10/17 14:45～
<b>関連科目</b>			<b>会場</b>	カレッジプラザ	カレッジプラザ